

算数 府算研夏季研(筑波大付属小盛山先生の講演)より
資質・能力の内容

算数以外の教科でも
資質・能力は同じ。隠
されているところを特
に意識してもらえたら

- ①(生きて働く)知識・技能の習得
- ②(未知の状況にも対応)できる思考力・判断力・表現力の育成
- ③学びを人生や社会に生かそうとする(学びに向かう力)・人間性の涵養

算数科の目標

(数学的な見方・考え方)を働かせ、(数学的活動)を通して、数学的に考える資質・能力を次の
とおり育成することをめざす。

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の
事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数
量や図形の性質などを見だし(統合的・発展的に考察する)力、(数学的な表現)を用い
て事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を(振り返って)よりよく問題解決しようと
する態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

実践例 3年生 2けた×2けた 単元ラスト

- ① $50 \times 50 \rightarrow 2500$
- ②2500より1小さい2499が答えになる2けた×2けたの式を見付けるのが今日の課題
- ③探してみるができない。数が大きいから→数を小さくして考えてみよう
- ④ $5 \times 5 = 25$ $4 \times 6 = 24$ $6 \times 6 = 36$ $5 \times 7 = 35$ $7 \times 7 = 49$ $6 \times 8 = 48$
- ⑤何かきまりがあることに気づき、②の課題を解決
- ⑥ほかの大きい数同士でも見つけたきまりが成り立つか調べる

- ③→数を小さくしたりわかりやすくしたりすることで、問題を解く手掛かりになるかも
- ④⑤→いくつかの例をだすことで、きまりを発見できるかも
- ⑥→みつけたきまりをほかのところに広げてみよう

児童が数学的な見方・考え方を働かせながら、課題解決に向けて試行錯誤する活動になっている。

学調の算数の結果が下降傾向にあるので、算数科の目標も頭の片隅に置きながら、日々の授業に臨んでいけたらと思います。